

Ark Sujinami Dental Clinic

「全く新しい」 医療空間。

電源の ON/OFF だけで空間を瞬時に変える液晶フィルム。

医院のイメージをガラッと変えたい

しかしリニューアルするには多大なコストがかかる。
そんな貴院のお悩み・ご要望にお応えします。

「TANYO(タンヨー)」なら既存のガラス面に特殊なフィルム材を貼るだけで、透明から乳白に変わる驚きの演出が可能。
乳白状態では患者様のプライバシーを守り、更に映像放映することで集患 UP に繋がり、患者さんとのコミュニケーションをお手伝いします。

アーク杉並デンタルクリニック・下井草

3つの特長

Three features

※ 合成イメージです



簡単
貼り付け

ON

電源を ON にして空間に開放感を与えます。
ガラス面があればどこにでも簡単に貼ることができます。



瞬間
目隠し

OFF

電源を OFF にして屋外や他の患者からの視線を目隠しします。ブラインドやカーテンのような面倒な操作は不要です。



映像
放映

SCREEN

更に院内からプロジェクターで映像を放映することで、貴院のメッセージや診療科目などを情報発信することができます。

詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.tanyo-style.com/>
<http://www.occs.co.jp/>

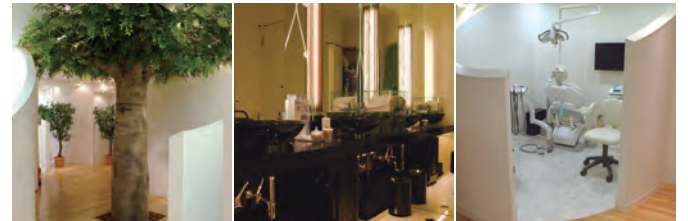


TANYO を使って患者様のプライバシーを守り、インパクトを与えたかった。

従来の歯医者では「怖い」「痛い」「暗い」といったマイナスイメージが先行して入りづらいのが本音です。しかし、当院のコンセプトは美容室やカフェなどのように「気軽に来てもらう空間」です。子供や女性目線で考え抜かれたインテリアや導線プラン、待合室には iPad を利用した治療説明。診察室中央には安心感を与える樹木を配置しています。

特に設計プランで一番こだわったところは「個室」です。治療を受ける時は「プライバシーを守りたい」「見られたくない」。しかし個室は中がどうなっているか分からないので入るまでは怖い。けれども治療室やカウンセリングルームなどは開放して見える場所に作りたい。

そんな時にこの課題を解決してくれたのが液晶フィルム『TANYO』でした。透明感の演出とプライバシー保護を同時に実現することが出来たのです。普段は透明な状態で開放感を打ち出し、カウンセリングに入ると乳白に切り替わります。TANYOを導入することによりアメニティ向上の実現や、『最先端』のイメージを患者さんに伝えることが出来ました。



アーケ杉並デンタルクリニック
ARK DC *Ark Suginami Dental Clinic*

院長：永平 裕一・ながひら ゆういち
日本大学松戸歯学部卒業後、研修医として研鑽を積む。
その後、千葉県内の 2 件の歯科医院で勤務医を経て開業に至る。
歯科麻酔セミナーやインプラントセミナー等に積極的に参加し、最新の知識・技術取得に努めている。

事例 Case study



場所：都内某歯科医院 外側ガラス面
用途：診療コンセプト、スタッフ紹介等のインフォメーション

人通りの多い道路に対して既存のガラス面を利用し、高輝度スクリーンに診療科目やスタッフ紹介などをプロジェクターで放映する事により、不特定多数の人へのアピールが可能です。



- 課題**
- ・クリニックが認知されていない。
 - ・症例や治療内容を周知するのに苦労する。

- 方法**
- ・ロードサイドに向け、時間・場所・ターゲットに合わせ情報発信を行うことで、通りがかりの不特定多数の人へアピールする。
 - ・分かりやすい言葉でフォローすることで、患者さんに対する理解度を高める。

オックスプランニングとは

最近、商業施設や小売店を中心に「デジタルサイネージ」という映像を活用した販促や情報伝達の手法が増えております。オックスプランニングは 8 年間で全国約 3000 面の映像ディスプレイ設置実績のある、デジタルサイネージのプロフェッショナル集団です。映像制作・機器選定・設置メンテナンスまでワンストップでご提案いたします。



JEXER 川口店様



ハードロックカフェ様



東京トヨベツ様



北千住ルミネ様